

放課後等デイサービス自己評価表

令和4年度
特定非営利活動法人とこっ子 心風

		チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	改善目標・工夫している点等
環境・ 体制整備	1	利用定員は指導訓練室等スペースとの関係で適切であるか	100%			<p>コロナの関係もありますが、行う内容によって数人が面談室に行き、活動スペースを分ける事で、子どもひとり一人のスペースを確保できていると思います。</p> <p>利用人数によって活動を分けて行ったり、仕切りを付ける事、室内だけでなく屋外の利用など、状況に合わせて行えるようにしている。</p> <p>一つの部屋で複数の活動を行うことができ、利用キャンセルがいなくても活動しやすい環境である。</p>
	2	職員の配置(人数)や専門性は適切であるか	75%	25%		<p>現在心風では育児休暇に入っている常勤スタッフが複数人おり、一人でも欠勤が出ると送迎が難しい状況ではありますが、姉妹事業所の野花さん、野っこさんからヘルプをもらう事で可能になっています。活動についても、スキルを持ったパートさんの力を借りながら、安心・安全・楽しいを基に活動を行えています。</p> <p>正規職員とパートとでスタッフの人数を確保し、正規職員だけでなくパートの方々にも資格を持っている方がいるなど、日々の研修にも参加頂き、専門性にも問題ないと考えられる。</p> <p>職員の専門性をパートの方などに伝えきれていないこともある。</p>
	3	事業所の設備等は、スロープや手すりの設置など利用児の必要に応じた配慮が適切になされているか	100%			<p>児童が靴を脱ぐときに手すりを使いたい場面があります。玄関の所には手すりがあるため、子ども自身で靴を履き替えることが出来るようになっていると思えました。</p> <p>玄関の大きな段差には手すりが取り付けられており、その他個別に必要なに応じて過敏の子に個室を作る等の配慮を行っている。</p> <p>段差には手すりが設置しており、安全に登れるようになっている。</p>
業務改善	4	業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか	75%	25%		<p>必要な業務改善がなされているように思う。それに伴う意見もみんなが発言することができている。</p> <p>数か月に一度職員の中で目標を決めて、みんなでその立てた目標が達成できるようにしている。しかし、その更新頻度がバラバラだったり、更新が出来ない事があると思いました。</p> <p>会議時にて振り返りを行い、日々業務改善に努めている。</p> <p>日ごとの会議や週一会議の場で様々な業務について話し合っており、広く職員が参画している。</p>
	5	保護者向け評価表等アンケート調査を実施して保護者の意向を把握し、業務改善に繋げているか	100%			<p>保護者の方に1年に1度、アンケートを取らせて頂いており、その後にフィードバックを事業所内で行っていきます。また、保護者の方から言われたこともフィードバックを行い出来るだけ改善を行うことが出来ていると思いました。</p> <p>保護者からの意見を受け止め、スタッフ間で話し合いを行い改善に努めている。</p> <p>アンケートの結果を踏まえて、話し合うこともしているがより多くの意見が必要な項目については話し合えていない。</p>
	6	この自己評価の結果を、お便りやホームページ等で公開しているか	75%	25%		<p>自分自身ではこの結果をホームページで詳しく見たことはありませんが、載っていることは知っています。保護者へはお便りでホームページに乗っているということをお伝えしている。</p> <p>ホームページにて公開している。</p>

	7	第三者(外部委託によるものや同職種、関係機関等の訪問、見学会等からのフィードバック)による外部評価を行い、 <u>評価結果を業務改善に繋げているか</u>	75%	25%	OT、PTの方の訪問が定期的になされ、その意見を支援に反映させようとしている。 半年に1度、他の職員から評価を受けて、その結果をもとに面接をしています。その時に、自分自身で必要なことはメモを取るようになっています。それでも、書いたことをふと忘れることがあるため、長い期間覚えていられるように意識し続けていきたいと思えます。 OT、PTの先生に来て頂き、子どもとの関りのアドバイスを頂いている。 作業療法士や理学療法士などの専門職に活動を見ていただいて、改善すべき点や工夫すべき点などのフィードバックを受けて日々の支援に反映している。
	8	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保しているか	75%	25%	自分の中では、たくさん研修の機会を取り入れているつもりです。それでも、他のスタッフを見ていると「まだまだ回数や時間が少ない」と感じるがありました。そのため、今後は自分の興味のある研修をより多く取り入れていけるようにしていきたいと思いました。 一年を通してキャリアに合わせた研修や法人全体での研修など、法人内だけでも学ぶ機会が多い。 研修を積極的に受けられる環境にあり、研修で学んだこと等を会議を通して他職員に共有する機会もあり、職員全体でスキルアップをしている。
適切な支援の提供	9	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、個別支援計画を作成しているか	100%		アセスメントして下さった物に目を通してから個別支援計画を立てるようにしています。また、その際に、分からない事はすぐに聞いてその狙い通りにあった遊びを行えるように考えています。それでも、たまにこのねらいは個々の遊びでは難しいのではないかとと言われることがあります。そのため、もっとねらいをくみ取れるようにしていきたいと思いました。 相談支援員の方からの情報(保護者のニーズなど)や実際にお話する機会から、子どもの未来を見据えた支援計画になるようにしている。 職員全員で一人の利用者について話す機会があり、そこで客観的に見ての分析をしている。
	10	子どもの適応行動の状況を図るために、標準化されたアセスメントツールを使用しているか	100%		その児童が活動を行う時に、みんなと同じ場所で行うことが難しい時、また、その場から動くことが出来ないときに、その児童の状況を考えながら無理やり動かすのではなく、そこで行えるように職員が動くようにしていました。それだけでなく、子どもが問題行動を起こす際に「なぜそれを行っているのか」を図るための行動記録をとることもある。 利用児童によって、記録用紙を作って記録などを取っている。
	11	行事や活動プログラムの立案、共有、実施するための検討をチームで行っているか	100%		1週間のうちの何日間を使って職員で活動の立案を行っています。その際に休みだったり、他のことが入っていない限りは、午前中の業務時間を使ってみんなで行うようにしていると思います。また、自分自身が休みの所は、他の人に頼むようにしています。 一日一日のプログラムは個人で立てているが、困難が生じた際や、個人が煮詰まった際には皆で相談したり、大本の月予定などはみんなで考えている。 話し合いの時間を設けて、活動をスムーズに行うための検討を行っている。
	12	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか	75%	25%	あえて活動を固定で入れているものがあるので、その趣旨を保護者の方へ説明をし、ご協力いただいている。 計画を立てる際に先週の活動をみたりして、同じにならないようにしています。それでもスタッフの配置や人数によってはダンスに頼ってしまうことがあります。しかし、出来る限りの範囲では固定化にならないように活動を行えていると思えました。 一つの遊びに対して工夫を加えることで、変化を起こす事や、今までなかった遊びを定期的に考えるようにしている(目的に合わせて)。 状況によって活動を変えたり、意味の持たせ方を変えたり工夫をしながら活動をしている。

適切な支援の提供	13	平日、休日、長期休暇に応じ課題を決め、細やかな支援を行っているか	75%	25%	<p>平日や休日などで子ども達が居る時間が違い、休日の時は一人一人子どもにつける時間も多いため、しっかりと行えるようにしています。平日の短い時間でも、限られた時間の中で子どもの目標を達成できるように活動を組んでいる。</p> <p>長期休みであれば、お出掛けや料理などの平日では難しいことを目的に沿って行い。平日でも日を跨いで完遂するようなこと(制作物やスタンプカードなど)も行っている。</p> <p>長期休暇などは時間をかけた課題を設定している。</p>
	14	子どもの状況に応じ、個別活動と集団活動を適宜組み合わせて個別支援計画を作成しているか	100%		<p>子どもの状況や、その日の体調に合わせて活動の変更をして行っています。また、集団と個別で遊びを分けることがあります。その時にも子どもの最近の様子によって部屋を分けるように心掛けています。</p> <p>計画を立てているが、リアルタイムの子どもの状況によって柔軟に変化させている。</p> <p>利用児童よっての支援と社会性の支援を組み合わせている。</p>
	15	支援開始前に職員間で必ず打ち合わせをし、支援の内容や役割分担について確認しているか	100%		<p>朝のミーティング時点でその日の流れを職員の中で確認をしています。その際に分からない事は作成した者に聞くようにしています。また、活動を行う時に、スムーズに進行出来るように自分たちの役割を確認し合いながら行うようにしています。</p> <p>個々の支援計画を基に前もって立てた活動計画を当日打ち合わせを行い、何を持って行うのかどう行うのかなど打ち合わせを行っている。</p> <p>話し合いの時間を設けて、パートの方への共有もしたうえで支援している。</p>
	16	支援終了後には、職員間で支援の振り返りを行い、気づいた点を共有しているか	100%		<p>パートさんを含めた振り返りができている。その都度出た疑問や悩みに対しては、その場で返答することができる時は返答し、難しいもの、検討が必要なものは、上司に相談、又は会議で話し合い、決定することができている。</p> <p>帰りのミーティングでは出来るだけみんなで行っています。また、その際には些細な事や自分しか気になっていないであろうことも周知の為に上げるようにしています。</p> <p>その日のメインにしている支援や活動だけでなく、子どもの良かった点や、成長したと感じられた点なども共有するようにしている。</p> <p>送迎後、話し合いをして記録も取っている。また、気づいた点に関して話し合いをしながら支援を工夫している。</p>
	17	日々の支援に関し正しく記録をとる事を徹底し、検証・改善に繋げているか	100%		<p>出来るだけ、記憶があるうちということを中心掛けています。また、出来るだけメモを取るようになっています。</p> <p>記録の漏れがないように、より良いやり方を日々改善に努めている。</p> <p>記録を取り、気になることは共有をしたうえで支援をしている。</p>
	18	定期的にモニタリングを行い個別支援計画の見直しの必要性を判断しているか	50%	25%	25%

	19	ガイドラインの総則の基本活動(自立支援・日常生活充実のための活動・創作活動・地域交流・余暇提供)を複数組み合わせる支援を行っているか	75%	25%	<p>活動の舵を握るのはあくまでも大人だが、子どもが主役(楽しめる)となって出来るように活動を組み立てられるようにしています。その際に総則を気にしながら活動をしていると思います。それでも全部の支援の中で行っているかと聞かれると出来ていない所もあると思いました。</p> <p>12でも述べた通り、必要に応じて(発達年齢、実年齢、状況、状態など)様々な活動を取り入れているが、基本は動の活動(身体を動かす)を行ってからの静の活動(身体を落ち着かせる)を行っている。</p> <p>様々な活動を計画し、公園などの地域に出た活動もしている。</p>	
関係機関や保護者との連携	20	学校との情報共有(年間予定下校時刻の確認等)、連絡調整(送迎時の対応、トラブル発生時の連絡等)を適切に行っているか	75%	25%	<p>年間予定下校時刻の確認が、学校から保護者に配られ、保護者から事業所にお伝えしてもらう流れになっている。そのため、学校と直接下校時刻の共有が行えていると言われると出来ていないと思いました。それでも、地域の学校の先生とは子どもを迎えにいった時に次の利用日の時間を聞いたり、確認をするように心掛けています。</p> <p>連絡調整は保護者の方を通して行い、学校へのお迎え時に情報共有をして、足りない部分を保護者を通して行っている。</p> <p>申し送り時学校の先生と情報共有をして、その情報を施設職員でまた共有をしている。</p>	
	21	相談支援事業所の(サービス)担当者会議に子どもの状況に精通した者が参画しているか	75%	25%	<p>サービス担当者会議がどのようなものなのか把握が出来ていないところがあります。それでも子どもの事を一番知っている管理者の方が参加していると思います。</p> <p>主に管理者、児童発達管理責任者が参加しているが、今後は主任を筆頭に他のスタッフにも参加して行ってほしい。</p> <p>管理者が出席をしている。</p>	
	22	就学前に利用していた保育園・児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか	50%	25%	25%	<p>同法人の児童発達から入所してきた児童については、細やかな情報共有がされている。仕方がないことだとは思いますが、他から移ってきた児童との情報量の差があると感じる。</p> <p>ファイルに書かれている情報をみたり、他の方から聞いたりして子どもの情報を得るようにしています。それでも見落とすことがあるため、資料を隅から隅まで見て子どもの情報を得るように心掛けています。</p> <p>新一年生の情報を電話連絡や実際に伺わせてもらっている。</p>
	23	学校を卒業し、放課後等デイサービス事業所から障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか	75%	25%	<p>同法人に相談支援ができたことで、情報の量も増えたのではないと思う。(相談支援がそえ木を利用している場合に限り)</p> <p>管理者が詳しくその児童の情報や移行先の方とお話をしてくださるので、自分が行っていないので分かりません。しかし、その児童の今までやってきた支援内容や今後事業所でやっていく支援内容については、話し合いを行って情報を共有しています。</p> <p>保護者の方に情報提供を行うことが出来る旨をお伝えしている。</p>	
	24	児童発達支援センターや発達障害者支援センター、他の福祉サービスや医療機関等の専門機関と連携し、助言や研修を受けているか	75%	25%	<p>自分が受けた研修があれば参加をすることがあります。それでも、そのような機関から助言をもらう機会は少ないと思っています。</p> <p>医療機関の先生に研修を行ってもらったり、PT、OTの先生に子どもを実際に見て頂いた上で助言を頂いている。</p>	
25	利用者が地域の子どもたちや他の利用者のご兄弟たちと、活動や交流する(触れ合う)機会があるか	75%	25%	<p>コロナの関係もありますが、公園に行った際も去年や今までと比べても子どもの数が減ってきて交流を行う機会は少ないと感じています。また、事業所としてもコロナの関係で簡単にはそとに出ずらくなっていると感じます。</p> <p>三年越しに行う事の出来たとこっ子フェスティバルや公園などのお出かけ時に触れ合う機会がある。</p> <p>「とこっ子フェスティバル」等の行事を作り交流を図っている。</p>		

	26	管理者や児童発達支援管理責任者は、自立支援協議会(常滑市の関係機関が集まり、地域課題の共有とサービスの整備を協議する会議)へ積極的に参加し、それを他職員へ共有しているか	50%	25%	25%	参加しているのかわからない。法人内の管理者の誰かが参加しているのかもしれない そのような名前の協議会があることを今知ったような状況のため、積極的どころか参加も出来ない状況です。今後はもっとこの協議会のことを調べて見て自分でも参加が出来る所があったら参加してみようと思います。 参加して必要に応じて、事業所内の会議時に共有している。
	27	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか	100%			保護者の方や学校の先生から頂いた情報に関しては、最近のその子の同じような場面がないのか、また、同じ場面ではどういった行動を取るのかを考えて、こちらの姿も伝えるようにしています。また、保護者の方からでた状況をもとに子ども達と接するように心掛けています。その時にいつもと少し対応を変えたときの子どもの情報や反応は保護者の方には伝えるように心掛けています。 面談時にも行っているが、送迎の際にも当日の様子だけでなく、今後の事やお家での様子を聞かせて頂いている。 送迎時や、電話、面談などを通して共通理解を持っている。また、話した内容は職員間で共有して職員間でも共通理解をしている。
	28	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対してペアレント・トレーニングや知識付与の勉強会等、支援を行っているか	75%		25%	自分自身の経験や技術がないため、専門的なことを聞かれた際には答えることが出来ない事があります。また、トレーニング等の支援も専門的な事が言えないのでこちらが行っていることを伝えることが多いです。そのため、その子どもが起こしている行動の気持ちを考えてあげて保護者のかたに一つの意見として伝えてさせていただくようにしています。 法人で行っている研修会のお知らせを出させて頂いている。参加されていない保護者の方にも、スタッフの側から知識を提供できるようにしている。 保護者研修会を継続して開催している。また、希望があれば資料提供をしている。
保護者への説明責任等	29	管理者等は運営規程、支援の内容、利用者負担等を保護者の方へ契約時に丁寧な説明を行い、他職員もその内容について説明することができているか	25%	50%	25%	聞かれた際には、出来るだけ丁寧な説明が出来るように言葉のスピードなどには気を付けて行っています。しかし、分からない事が多く、そのたびに管理者の方に聞いた後に、お伝えをするようにしていますが、言われたことをそのまま伝えることが多くあるため、今後は自分の言葉で簡潔に伝えられるようにしていきたいです。 保護者の方にお伝えはしているが、他職員がその内容について説明することができているかまでは、判断出来ない。しかし、規定や利用者負担など伝えてきてはいる。
	30	保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っているか	75%	25%		助言を求められた際に自分自身が答えることができるものに関しては、その場で答えるようにしています。また、その時に自分自身が分からないものや、他の人の意見を聞きたい時には一度持ちかえらせて頂いてから、相談をしたうえで再度お答えするようにしています。 どのスタッフでも相談されたことに答えられるように、知識を伝え続けており、その場で答えられない事でも、後日応えられるようにしている。 保護者から相談を受けた際には、職員で共有し話し合いまた保護者へ助言している。また、施設での支援に生かすこともある。
	31	父母の会(親の会)の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携(横のつながり)を支援しているか	75%		25%	自分が参加をした際には、駐車場の案内や体温計の係を行うことはあります。それでも、保護者の方が話している時や保護者の方々の仲介に入ったりは出来ていないので、今後は初めての保護者の方がいたときにその間に入れるようにしていきたいと思いました。 茶話会(コロナの影響で回数の変動はあるが)や研修会など保護者同士が接する機会を設けられている。 懇親会などの行事もあり、他事業所の親同士もつながりが持てるようになっている。

	32	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者にそれを周知し、苦情があった場合には迅速かつ適切な対応がとれる準備ができていますか	75%	25%	何かあった時には、その日の帰りのミーティングでお伝えをするようにしています。また、その日のうちや次回の会議の時にはそのことについて話し合いをして原因や対策を考えています。 保護者の方には契約時お伝えして、万が一あった場合にも解決に向けてのスタッフ間での話し合いを迅速に行い、対応を保護者の方にも速やかに伝えるようにしている。 私が入社一年目ということもあり、そういった出来事がないためわからない。
	33	定期的にお便り等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか	100%		月1回のペースで次の月の予定や保護者の方に伝えたい事を書くようにしています。また、予定が近づいた際にはその日の申し送りの際に保護者の方にお知らせを行うようにしています。 月々のお便りにて月予定をお知らせしている。 毎月お便りを発行し、日々の活動紹介や、行事の際の準備していただくものを載せている。
	34	個人情報に十分注意しているか	75%	25%	子ども達の活動写真を自分の携帯で撮ることがあるので最後、消去までしたことを確認するようにしている。 子ども達の連絡帳を見る際は、他のお友達が見ないように出来るだけスタッフルームで見ないようにしています。また、スタッフルームで見ると難しい時には子ども達が他のスタッフと活動を行っている時など、こちらに子ども達の視線がない時に行うようにしています。 注意できるように皆で声を掛け合うようにしている。 毎月、法令遵守事項の確認をし個人情報には配慮している。
	35	障がいのある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか	100%		個々に合わせたツール(イラスト、文字など)を使用し、情報伝達ができるよう心掛けている。 子ども達が何をこちらに伝えたのか分かるように、子ども達が言葉で伝えたときにはゆっくりと時間をかけてでも聞くようにしています。また、分からなかったときも再度、聞き直して子ども達の伝えたい事を出来るだけ多く聞くようにしています。 子どもには個人に合わせた方法(絵カードや文字などを使用)で伝えるようにして、保護者とは管理者がいつでも連絡が取れるようにしている。 子どもによって要求カードを準備したり、マカトンサインを使ったりして意思の疎通をしている。保護者へも希望があれば連絡帳を活用しての情報伝達をしている。
	36	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っているか	25%	75%	ここ数年はコロナが流行っていたこともあり、地域との交流の場はなかったように思う。ただ、挨拶や話をしたり、小さなことだが日々のご近所の方との交流は大切にしている。 地域の方を入れて何かを行うことは今のところなく、招待するという機会を作っていきたいと思えます。 現在はとこっ子フェスティバルを含め法人内の利用者に留まっているが、今後は広げていきたい。 コロナウイルスの関係もあり、地域住民の招待などは行っていない。
非常時等の対応	37	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、職員はもちろんのこと保護者の方にも面談時や何らかの連絡ツールによる周知を図っているか	75%	25%	職員への周知は、毎週の職員会議の場で読み合わせを行っているが、保護者の方への周知は、最初の面談時のみだと思う。(定期的な周知はされていない。それを保護者の方たちが望んでいるのかも分からない。) 会議の中でマニュアルの1種類は必ず確認し合うようにはしています。その時に読み合わせをして大事なところは詳しく話をしながら行うようにしています。また、保護者の方に聞かれた際にも答えられるように自分の中で簡単な答えを持つようにしています。 スタッフ間で忘れてしまわないように、毎週行う会議で共有する機会を作っている。 マニュアルに関して、変更があった際には都度お便りなどを通して周知している。

38	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか	50%	50%	<p>子どもたちを交えた避難訓練は定期的に行っているが、職員のみでの訓練は行えていない。(この半年)</p> <p>事業所の中で担当の人が決めて日にちを決めてくださって行っています。それでも、行く機会はその間にないのだからと訓練は行えてはいませんが、まったくやっていないわけではないため、実際に起こったときには対応が出来るようになっていると思います。</p> <p>災害や不審者等の避難訓練を定期的に行なっている。</p> <p>避難訓練を定期的に行っている。</p>
39	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか	100%		<p>虐待防止委員会の発足がされ、定期的な会議がなされている。(担当者のみ)研修も全職員(パート含める)が参加し、虐待に対する共通認識がされた。</p> <p>会議の中でも事例をあげて職員の中で話し合いをするようにしています。また、自分自身その時に、もしかしたら該当するのではないかというものをお伝えして、他の人の判断をもらうようにしています。また、ささやかな事でも分からないようなことがあったら、他の人に聞いて行こうと思います。</p> <p>法人外の研修にも参加しており、虐待防止委員会による研修も行っている。</p> <p>法人内で虐待防止研修を行い、日々の支援でも職員間で検討をしている。また、行動抑制をする可能性のある子供に関しては保護者への説明をし同意書にも記入していただき、行動抑制をした事実を記録している。</p>
40	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、個別支援計画に記載しているか	100%		<p>管理者の方が子ども達が入所する時には保護者の方に伝えていきます。また、途中で必要になった際も書類と説明を保護者の方にして、了承とサインをいただくように管理者がしてくれています。</p> <p>スタッフ間で話し合ったうえで、保護者に了承を得ている。</p>
41	子どもの食物アレルギーの有無について聞き取りを行い、保護者の方や医師の指示等に基づく対応がされているか	100%		<p>事前に子ども達にアレルギーの有無を聞いていて、アレルギーに限らず、子どもの好き嫌いなどを対応含めた表にしてあるものを作成してある。また、自分自身も定期的にその紙を見て子ども達に食事提供を行うようにしています。</p> <p>食物だけでなく、虫よけやムヒなどの市販薬についてもお聞きしている。</p>
42	ヒヤリハット事例集(記録)を作成して事業所内で共有しているか	100%		<p>毎週の会議の場で、職員がローテーションで出すようにしている。パートさんたちも見えるような形で保管してあるが、実際に見ているかはわからない。(見るように促していないのも現状である。)</p> <p>週1回の会議の中で担当を決めてローテーションで発表しています。自分自身もヒヤリハットがあった際には出来るだけ早いうちに作成をしています。また、そのヒヤリハットを自分の順番が来たら他の職員に発表をするようにしています。</p> <p>会議ごとに事例を出し、共有と話し合いを行っている。</p> <p>週に一回開かれる会議の中で、職員が事例を持ち寄って職員全員で防ぐための検討をしている。</p>